

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	GT-E106/ボンフロンWR-100HBSR工法(既存塗膜あり)		
◇適用素地	コンクリート、モルタル、ALC等 既存塗膜のあるもの(リシン、吹付けタイルなど)		
◇使用材料	下塗	ボンHBサーフェーサーR	16.0 kg / 缶
	中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	15.0 kg / 缶
	上塗	ボンフロン水性GT-SR	15.0 kg / 缶

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法
素地調整	旧塗膜に脆弱部分のある場合はサンダー・皮スキ・ケレン棒を用いて除去し、下地調整材を用いて段差修正及び模様合わせを行ってください。 高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去してください。					
1	下塗 ボンHBサーフェーサーR	清水 5 ~ 8 2 ~ 5	0.30 ~ 0.50 0.80 ~ 1.20	1	16h以上 7日以内	ウールローラー 砂骨ローラー
2	中塗 ボンフロン水性W#1500中塗	清水 0 ~ 15	0.09 ~ 0.11 0.11 ~ 0.15	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗 ボンフロン水性GT-SR	清水 0 ~ 5	0.09 ~ 0.11 0.11 ~ 0.15	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合 計				3		

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m²) × 100 / 塗着効率(%)』で算出しております。
所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。
各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

施工方法	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

注2) 新設や既存塗膜がない場合及び既存塗膜が脆弱な場合は、ボンHBサーフェーサーRを塗布する前に、ボンカチオンプライマーを塗装してください。

<ボンカチオンプライマー> 塗布量/0.15~0.19kg/m² 塗布間隔/2時間

注3) 上塗 艶の種類

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
ボンフロン水性GT-SR	○	×	○	×	○

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。

※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので所要量を遵守して下さい。

※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
塗装工事における留意点<<水性塗料>>